

前十字靭帯損傷、半月板損傷、軟骨損傷の治療で当院を受診された患者さんへ

「膝関節を対象とした MRI 三次元自動解析ソフトの開発および検証」へご協力をお願い

○この研究の概要について

現在臨床で採用されている MRI 画像は平面の画像ですが、この研究では富士フイルム株式会社と共同で、富士フイルムが開発した三次元画像解析ワークステーション「SYNAPSE VINCENT」を使用し、平面の MRI 画像から軟骨や半月板の立体像を構築する MRI 三次元自動解析ソフトを開発、検証します。このソフトができれば、患者さんに膝の状態を説明する時に、わかりやすく説明できるようになります。

この研究は、東京医科歯科大学医学部倫理審査委員会（研究機関の長：医学部長 江石 義信）で審議され、承認されています。

承認番号： 第 2217 番

研究期間： 医学部倫理審査委員会承認後から平成 30 年 3 月 31 日

実施責任者： 東京医科歯科大学医学部附属病院

整形外科（再生医療研究センター） 教授 関矢 一郎

○この研究の方法について

本研究では、これから八重洲クリニックで 3.0 テスラ MRI 検査を受ける予定の患者さんと、2006 年 1 月以降に八重洲クリニックで 3.0 テスラ MRI 検査を受けて MRI 画像データが当科に保存してある患者さんの MRI データ 500 例を使用して、軟骨や半月板の三次元立体像を構築するソフトを開発します。ソフトの開発は富士フイルム株式会社で行います。MRI データにある患者さんのお名前等の個人情報データを取り込む際に匿名化されるため、患者さんの個人情報が富士フイルム株式会社に提供されることはありません。

開発したソフトの検証は本学で行います。ソフトで構築した軟骨や半月板の三次元立体像と、関節鏡で実際に見た所見を比較して、ソフトの検証を行います。これは当科の医師が行います。この研究のために患者さんに新たに何かしていただくことはありません。

○この研究へご協力いただくにあたって

この研究に協力するかどうかは、ご自分の意思でご判断下さい。ご自分の MRI データや関節鏡所見のデータがこの研究で用いられることを希望されない患者さんは、遠慮なく医師またはスタッフにお申し出下さい。申し出のあった患者さんのデータをこの研究に使用することはありません。また、この研究にご協力頂けなくても、今後の診療に何ら不利益になるようなことはありません。なお、拒否のお申し出のあった時点で、既に解析が行われていた場合には、データを破棄できないことがあります。この場合でも個人が特定されることはありませんので個人情報は保護されます。

○この研究成果の公表について

本研究の成果は、開発したソフトの特許が登録される前には論文等には公開しません。特許取得後に、論文等に公開します。公開内容には個人のプライバシーにかかわることは一切含みません。

○費用について

本研究は実施責任者である関矢一郎あての奨学寄附金、および共同研究先の富士フイルム株式会社の研究費を用いて行われます。この寄付金には富士フイルム株式会社からの寄付金は含まれていません。また、本研究課題により公的な研究費が獲得できた場合は寄付金、企業の研究費に替えて公的研究費を用います。実施に当たっては医学部臨床研究利益相反委員会および倫理審査委員会に審議され、利益相反状態が存在することによって、被験者に不利益が及ぶこと、または研究の公平性に悪影響が及ぶおそれはないと判断されました。また、学会発表や論文の公表にあたっては、資金について公表し、研究の透明化を図って参ります。

以上の点につきましてご不明な点がございましたら、医師またはスタッフまでお問い合わせください。よろしくお願いいたします。

東京医科歯科大学医学部附属病院 整形外科

関矢一郎、宗田 大、大川 淳

〒113-8519 東京都文京区湯島 1-5-45

電話：03-5803-5678(ダイヤルイン) (平日 9:00~17:00)

苦情窓口：東京医科歯科大学医学部総務掛

電話：03-5803-5096 (対応可能時間帯 平日 9:00 から 17:00)